

2021年度 施策評価シート(2020年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	産業労働部 観光課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	観光振興プログラム		
施策名	【重点】岡山を満喫する滞在型観光の推進		

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

指標名	◎観光消費額	年度	2017	2018	2019	2020
			目標値	1,630	1,660	1,700
現況値	1,488億円/年(2012~2015年度の平均)	実績値	1,664	1,778	1,959	1,183
目標値	1,700億円/年	達成率	102.1%	107.1%	115.2%	69.6%
備考	観光入込客の消費総額	達成度	4	4	4	2

指標名	○観光入込客数	年度	2017	2018	2019	2020
			目標値	1,395	1,430	1,465
現況値	1,356万人/年(2012~2015年度の平均)	実績値	1,570	1,443	1,692	1,332
目標値	1,500万人/年	達成率	112.5%	100.9%	115.5%	88.8%
備考	観光地点を訪れた観光客数	達成度	4	4	4	3

指標名	○延べ宿泊者数	年度	2017	2018	2019	2020
			目標値	520	530	545
現況値	511万人/年(2012~2015年度の平均)	実績値	583	562	566	377
目標値	560万人/年	達成率	112.1%	106%	103.9%	※-
備考		達成度	※5	※5	※4	※1

3 事務事業評価

産業労働部 観光課	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題		事務事業総合評価
	着地型旅行商品造成販売、体験型旅行商品造成販売、教育旅行、観光キャンペーン、滞中に結び付く周遊観光	実施目的 県内での滞在時間の延長を図り、宿泊への誘導、飲食機会の増加など、観光消費の拡大につなげる。	成果・課題 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光消費額は対前年比で60.4%と約40%減少し、観光関係事業者は大きな影響を受けている。今後、速やかに観光需要喚起策等を展開することで、DCを起爆剤として観光需要の回復を図る必要がある。	2

平均	2.0
----	-----

4 施策達成レベル

2.0	生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、移動の自粛が求められる中、「おかやま果物時間」セレクションなど、県内や近隣県からの来訪・滞在を図るための旅行商品の造成等に取り組んだものの、2020年の観光入込客数は対前年比78.7%で、観光消費額も対前年比60.4%となった。</p>
--

6 今後の施策推進に向けての課題

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光需要の回復に向け、デスティネーションキャンペーンを契機に観光需要喚起策を展開し、誘客の促進を図る。

2021年度 施策評価シート(2020年度実績)

1 評価施策名	担当部課室 産業労働部 観光課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【重点】多様な主体と連携した魅力発信

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

指標名	◎観光消費額	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	1,630	1,660	1,700	1,700
現況値	1,488億円/年(2012~2015年度の平均)	実績値	1,664	1,778	1,959	1,183
目標値	1,700億円/年	達成率	102.1%	107.1%	115.2%	69.6%
備考	観光入込客の消費総額	達成度	4	4	4	2

指標名	○観光入込客数	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	1,395	1,430	1,465	1,500
現況値	1,356万人/年(2012~2015年度の平均)	実績値	1,570	1,443	1,692	1,332
目標値	1,500万人/年	達成率	112.5%	100.9%	115.5%	88.8%
備考	観光地点を訪れた観光客数	達成度	4	4	4	3

指標名	○延べ宿泊者数	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	520	530	545	560
現況値	511万人/年(2012~2015年度の平均)	実績値	583	562	566	377
目標値	560万人/年	達成率	112.1%	106%	103.9%	※-
備考		達成度	※5	※5	※4	※1

3 事務事業評価

産業労働部 観光課	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題		事務事業総合評価
	ターゲット別観光情報発信事業、広域観光誘致対策、観光プレゼンテーション事業	実施目的 市町村や観光事業者等と連携し、県南から県北まで広く誘客拡大に結び付く戦略的な観光プロモーションを展開することで、本県の認知度を向上させる。 成果・課題 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数は対前年度で78.7%であり、20%以上減少した。今後、観光誘客の回復に向け、近隣県やJR西日本、NEXCO等多様な主体と連携した戦略的なプロモーションに取り組む必要がある。	4	
平均				4.0

4 施策達成レベル

2.4	生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

<p>首都圏等での観光プレゼンテーションが中止となる中、新型コロナウイルス感染症の影響にも配慮しながら、近隣県と連携して観光PRや情報発信を行ったが、2020年の観光入込客数は、対前年比78.7%で、観光消費額も対前年比60.4%となった。</p>
--

6 今後の施策推進に向けての課題

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光需要の回復に向け、市町村や観光関係事業者はもとより、DMOや近隣県、民間企業など多様な主体と連携して、岡山の魅力を効果的かつ継続的に発信することにより、一層の認知度向上を図り、誘客の促進につなげる必要がある。

2021年度 施策評価シート(2020年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	産業労働部 観光課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	観光振興プログラム		
施策名	【重点】さらなるインバウンドの拡大と航空ネットワークの拡充		

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

指標名	◎観光消費額	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	1,630	1,660	1,700	1,700
現況値	1,488億円/年(2012~2015年度の平均)	実績値	1,664	1,778	1,959	1,183
目標値	1,700億円/年	達成率	102.1%	107.1%	115.2%	69.6%
備考	観光入込客の消費総額	達成度	4	4	4	2

指標名	○外国人旅行者宿泊者数	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	219,000	246,000	273,000	300,000
現況値	162,344人/年(2015年度)	実績値	324,283	356,924	313,673	15,240
目標値	300,000人/年	達成率	148.1%	145.1%	114.9%	5.1%
備考	県内に宿泊する外国人旅行者数	達成度	5	5	4	1

指標名	○岡山空港の国際線利用者数	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	22	23	24	25
現況値	15万人/年(2015年度)	実績値	26	30	26	0
目標値	25万人/年	達成率	118.2%	130.4%	108.3%	0%
備考		達成度	4	5	4	1

3 事務事業評価

	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題		事務事業総合評価
	県民生活部 航空企画推進課	空路利用促進事業	実施目的 岡山桃太郎空港の路線充実、利便性の向上に向け、その前提となる利用者の増加を図るため、空路利用を促進する会等と一体となって利用促進活動を展開する。	成果・課題 2020年度の岡山桃太郎空港の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内線・国際線とも減便や運休が続き、前年度を大きく下回る266,774人となった。今後、感染症の収束を見極めつつ、航空会社等と連携し、運航を休止している航空路線の早期再開と落ち込んだ航空需要の回復に向けて、空路利用促進に全力で取り組む。

	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題		事務事業総合評価
	産業労働部 観光課	Visit Okayama推進事業	実施目的 多様な主体と連携し、国や地域の特性に応じた魅力発信や外国人旅行者の受入環境の充実に取り組むことにより、インバウンドの誘客促進を目指す。	成果・課題 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う入国制限により、本県の外国人旅行者宿泊者数は2004年度の調査開始以降過去最低となる約15,000人(前年度比95.1%減)となった。インバウンドは厳しい状況が続くが、感染症対策等の情報発信や滞在型コンテンツ造成等の受入環境整備、また誘客可能となった国・地域からWeb等を活用したプロモーションを実施していく。

平均	1.5
----	-----

4 施策達成レベル

1.3

生き活き指標達成度と事務事業達成レベルを
4:1で加味して施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

新型コロナウイルス感染症の収束後に本県を旅行先として選んでもらえるよう、観光地における感染症対策等の情報発信や、滞在型観光コンテンツの造成など受入環境を充実させた。また、近隣県等と連携し、オンラインツアーを行うなど、コロナ禍においても実施可能な施策を推進した。しかし、海外からの渡航制限は続き、2020年度の外国人旅行者宿泊者数は、2004年度の調査開始以降過去最低となる約15,000人（前年度比95.1%減）となった。

6 今後の施策推進に向けての課題

インバウンドの回復は本県の観光産業にとって必要不可欠であり、また感染症の収束時には地域間競争の激化が見込まれることから、観光地における感染症対策等の情報発信や、滞在型観光コンテンツの造成など受入環境の充実を継続的に進める必要がある。また、本県単独によるプロモーションには限界があるため、近隣県その他、国や関連団体等と連携し、誘客可能となった国・地域から、国・地域の特性を踏まえた戦略的なプロモーションを実施していく必要がある。

2021年度 施策評価シート(2020年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	都市局 都市計画課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	観光振興プログラム		
施策名	【重点】岡山後楽園の魅力づくり		

2 生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名	◎観光消費額	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	1,630	1,660	1,700	1,700
現況値	1,488億円/年(2012~2015年度の平均)	実績値	1,664	1,778	1,959	1,183
目標値	1,700億円/年	達成率	102.1%	107.1%	115.2%	69.6%
備考	観光入込客の消費総額	達成度	4	4	4	2

指標名	○岡山後楽園の入園者数	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	840,000	872,000	900,000	900,000
現況値	817,260人/年(2015年度)	実績値	887,303	824,499	832,677	360,304
目標値	900,000人/年	達成率	105.6%	94.6%	92.5%	40%
備考		達成度	4	3	3	1

3 事務事業評価

都市局 都市計画課	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題		事務事業総合評価
	岡山後楽園の魅力づくり	<p>実施目的 特別名勝岡山後楽園の歴史的・文化的な価値を受け継ぎつつ、国内外から多数の観光客が訪れる観光拠点としてさらに活用できるよう、賑わいの創出や保存整備を行うことにより、県内各観光地への波及効果や観光岡山のブランド化を図る。</p> <p>成果・課題 魅力向上や賑わい創出を図るため、各種行事や夏・秋の幻想庭園の実施、特別な空間で和文化に触れる体験メニューの提供、二色が岡景観復元事業の着手や施設の保存整備等を行った。今後も岡山後楽園・岡山城等連携推進協議会での協議や後楽園魅力向上委員会からの提言等を踏まえ、感染症の収束後を見据えたさらなる魅力づくりに努め、入園者の回復に努める必要がある。</p>	2	
産業労働部 観光課	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題		事務事業総合評価
	岡山後楽園・岡山城連携推進事業	<p>実施目的 岡山後楽園の魅力発信につながる事業を岡山市と連携して行い、国内外からの入園者数の増加を図る。</p> <p>成果・課題 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う休園等により、岡山後楽園入園者数は前年を下回る約36万人(前年度比56.7%減)となった。岡山城の改修工事に伴う休館期間中ではあるが、今後、戦略的なプロモーション等によって観光需要の回復を図り、歴史文化資源を生かした岡山の顔づくりに努めていく。</p>	2	
平均				2.0

4 施策達成レベル

1.6	生き活き指標達成度と事務事業達成レベルを 4:1で加味して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

2020年度の入園者数は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、4月20日から5月31日までの休園に加え、春の幻想庭園など県主催行事の中止や縮小等も行ったことから、前年度を大きく下回る結果となった。

6 今後の施策推進に向けての課題

新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、岡山後楽園・岡山城等連携推進協議会での協議や後楽園魅力向上委員会からの提言を踏まえ、当面は国内客をターゲットとした誘客促進を図るため、既存事業のブラッシュアップなどさらなる魅力づくり事業を実施するとともに、感染症の収束後を見据え、後楽園の魅力を広く国内外に情報発信するなど、入園者の回復に努める必要がある。

また、取組を進めるに当たっては、後楽園に関する専門知識や経験を有する岡山県郷土文化財団との連携をより一層強化し、効率的・効果的な事業実施が必要である。

2021年度 施策評価シート(2020年度実績)

1 評価施策名	担当部課室 産業労働部 観光課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【推進】おもてなしの向上の推進

2 生き活き指標の進捗(達成)状況

3 事務事業評価

	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題	事務事業総合評価
産業労働部 観光課	観光連盟助成	実施目的 旅行者の満足度や印象度を高め、リピーターやファンの増加に結び付けるとともに、選ばれる観光地づくりを推進する。	2
		成果・課題 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、コンベンション開催件数は前年から大きく減少した。コンベンション開催件数の回復に向け、引き続き、交通アクセスや観光資源など、本県の優位性をPRしながら、主催者の意向を踏まえた上で、会議の分散や広域的なエクスカージョンなどの提案を行っていく。	

平均	2.0
----	-----

4 施策達成レベル

2.0	生き活き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全国的にMICEが自粛・中止となるなど、積極的な誘致活動が困難だった中、オンラインで開催された「国際MICEエキスポ」に出展し、本県への大会誘致に向けたプロモーションを行うとともに、商談会に参加し、本県の施設情報やエクスカージョンに必要な観光情報を提供したものの、コンベンション開催件数は前年度の480件から89件へと大きく減少した。

6 今後の施策推進に向けての課題

新型コロナウイルス感染症の収束に備えて、関係市町村や観光関係事業者と密に連携しつつ、収束後、人の動きが回復した場合は、交通アクセスや観光資源など、本県の優位性をPRしながら、主催者の意向を踏まえた提案によって、本県へのコンベンションの誘致に努める。

2021年度 施策評価シート(2020年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	環境文化部 自然環境課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	観光振興プログラム		
施策名	【推進】観光資源としての自然や文化の積極的な活用		

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

3 事務事業評価

事務事業名		事務事業の実施目的及び成果・課題		事務事業総合評価
環境文化部 自然環境課	国立公園満喫プロジェクト推進事業	実施目的	環境省が国立公園のナショナルパーク化を目指し、「国立公園満喫プロジェクト」として、蒜山地域を含む大山隠岐国立公園を選定したことに伴い、蒜山地域の自然景観を活用し、インバウンドにも対応できる環境整備や、Webによる情報発信など人材の育成を図り、国内外の誘客促進につなげる。	2
		成果・課題	大山隠岐国立公園内において、蒜山地域の自然をより楽しんでもらえるよう、園地遊歩道の再整備、案内板の整備を行った。また、蒜山の風土や歴史、Webによる情報発信の研修を実施した。	

平均	2.0
----	-----

4 施策達成レベル

2.0	生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

真庭市蒜山エリアにおいて、関係自治体や団体の協力を得ながら、園地遊歩道の再整備、案内板の整備を行うとともに、蒜山の風土や歴史、Webによる情報発信の研修による人材育成など、誘客の促進に向けた取組を行った。

6 今後の施策推進に向けての課題

新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら、誘客の促進に向けて、さらなる施設整備を行うとともに、研修で得られた知識やスキルの活用により、ガイドのさらなる育成を図る必要がある。

2021年度 施策評価シート(2020年度実績)

1 評価施策名	担当部課室 土木部 港湾課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【推進】港を中心としたにぎわい空間の創出

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

3 事務事業評価

土木部 港湾課	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題		事務事業総合評価
	宇野港利用促進費	実施目的 宇野港への航路誘致を推進するとともに、宇野港を中心とした賑わいの創出を目的とする宇野港航路誘致推進協議会の事業活動への支援を行うことで、地域の発展を図る。	成果・課題 宇野港航路誘致推進協議会に対する支援やポートセールス、地域住民が参加した歓迎イベント、宇野港の認知度を高めるための雑誌への掲載などを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により全国的にクルーズ客船の運航が停止したことから、寄港実績も0となった。	2
土木部 港湾課	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題		事務事業総合評価
	宇野港開港90周年記念式典開催事業	実施目的 宇野港は開港90周年を迎えたことから、宇野港を中心とした賑わいの創出を目的とした記念イベントを開催する。	成果・課題 コロナ禍での実施のため、大規模な広報を展開できなかったが、各種感染症対策を講じた上での現地開催とともに、イベントの周知に努めた。	5
平均				3.5

4 施策達成レベル

3.5	生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

全国クルーズ活性化会議等のクルーズ関係会議に出席し、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえたクルーズ客船寄港回復に向けた取組を検討した。
 また、宇野港開港90周年記念式典開催事業では、香川県、玉野市、宇野港航路誘致推進協議会、地元高校生等と連携して各種イベントを実施し、港の賑わい創出が促進された。

6 今後の施策推進に向けての課題

保健福祉部を含む医療関係者や港湾関係機関と連携して、クルーズ船寄港時の新型コロナウイルス感染症対策を確立し、さらに、クルーズ客船の寄港回復に向けたポートセールス等にも取り組む。

2021年度 施策評価シート(2020年度実績)

1 評価施策名	担当部課室 土木部 道路整備課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【推進】サイクリングを通じた観光振興

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

3 事務事業評価

	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題	事務事業総合評価
土木部 道路整備課	サイクリング関連事業	実施目的 県内に多くのサイクリストを呼び込み、活力ある地域づくりと観光振興につなげるため、「爽快!岡山満喫サイクリングロード事業」等によりサイクリング推奨ルートを整備する。	5
		成果・課題 2020年度は、片上鉄道沿線地域活性化対策協議会と協働で策定した整備計画に基づき、片鉄ロマン街道の特色である「レトロ感」や「郷愁」を生かしたデザインの案内看板の整備を行った。	
産業労働部 観光課	おかやまハレいろサイクリングツアー促進事業	実施目的 サイクリングを通じ地域に多くの人を呼び込み、観光振興やにぎわい創出につなげる。	3
		成果・課題 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数は対前年比で78.7%であり、20%以上減少した。沿線のにぎわい回復に向け、引き続き、専用サイトや各種媒体を通じたサイクリング推奨ルート及び沿線の観光地、グルメ等の魅力の発信や自転車展覧会でのプロモーション等により、サイクリストの地域への呼び込みを図る。	
平均			4.0

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

片鉄ロマン街道の特色である「レトロ感」や「郷愁」を生かしたデザインの案内看板の整備を行うことで、地域の魅力を高めるとともに、利便性の向上などにつながった。

6 今後の施策推進に向けての課題

整備した推奨ルートの利用促進に向けて、市町村等との連携を図る必要がある。

2021年度 施策評価シート(2020年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	総務部 デジタル推進課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	観光振興プログラム		
施策名	【推進】公衆無線LAN環境の充実		

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

3 事務事業評価

事務事業名		事務事業の実施目的及び成果・課題	事務事業総合評価
総務部 デジタル推進課	公衆無線LAN環境整備推進事業	実施目的 県内全域での利用者の利便性向上及び外国人観光客のニーズへの対応によるSNS情報発信機会の拡大、災害時の通信手段の確保を図る。	4
		成果・課題 2020年度末現在、「おかやまWi-Fi」のアクセスポイント数は、県施設に設置した57箇所※を含む1,281箇所となっており、県内の公衆無線LAN環境の充実に向けて着実に普及が進んだ。2020年度の目標値は達成したが、引き続き「おかやまWi-Fi」の推進に向けた取組を実施する必要がある。 ※県施設に設置した通常版及びLite版のアクセスポイント数	

平均	4.0
----	-----

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

<p>公衆無線LAN接続アプリを使用することで、一度の利用登録で岡山後楽園や倉敷美観地区等の公衆無線LANサービスにも接続できる「おかやまWi-Fi」について、無線LANサービス事業者との連携協定の活用や、産業支援機関等との連携により、市町村施設や民間施設等への設置を促進し、県内の公衆無線LAN環境を充実させることができた。</p>

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>今後も、設置が進んでいない地域での公衆無線LAN環境のより一層の普及促進に向け、無線LANサービス事業者や産業支援機関等と連携した効果的な取組を継続して実施する必要がある。</p>
